

## 熱く語られた友好都市の魅力

5月4日、行田市市制施行60周年記念「白河・桑名・行田サミット」がみらいで開催されました。

行田ロータリークラブの主催で行われたこの催しは、第1部で歴史小説「のぼうの城」著者の和田竜さんによる記念講演が行われました。第2部のパネルディスカッションでは、工藤市長、友好都市の鈴木白河市長、水谷桑名市長が「歴史と観光」をテーマに、各市の観光や文化、これからのまちづくりについて熱く語りました。



## おなじみのパフォーマンスに大歓声

4月25日、行田グリーンアリーナでグリアリススポーツフェスタが開催され、元プロレスラーのアニマル浜口さんが講演を行いました。

娘・京子さんと二人三脚で歩んだ北京オリンピックまでの険しい道のりについてのエピソードを真剣な眼差しで語った浜口さん。「ワッハッハ」「気合だー！」などと叫ぶ、おなじみのパフォーマンスを披露すると、客席からは大きな歓声が沸き起こりました。

## 日本文化を刻んだ刀剣を展示

4月25日から5月10日まで、郷土博物館では第53回埼玉県名刀展「彫り物のある日本刀」が開催されました。

この催しでは、埼玉県刀剣保存協議会会員や同館が所有・保管する不動明王や竜などが彫られた刀、脇差し、槍などが展示されました。4月26日と5月4日には同会本庄支部の会員による展示説明会も行われ、来場者は鎌倉時代から現代までに作られた芸術的逸品の解説に耳を傾けていました。

また、5月3日には行田市居合道連盟の会員10人による居合道の演武が行われ、厳かな雰囲気の中、見事な刀さばきが披露されました。

